

【夢いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの 知念っ子】

デーダ

学校だより 第4号
発行者
南城市立知念小学校
校長 長木 克憲
令和8年6月17日

【読み聞かせへのご協力ありがとうございます。】

6月16日に1学期最後の読み聞かせが終わりました。7月の第3火曜日は夏休みに入るではありません。4月から読み聞かせをしていただいた保護者の皆様。本当にありがとうございました。

読み聞かせは、子どもの語彙力や想像力を育むだけでなく、集中力や情緒の安定させることがあるようです。知念小の子ども達が落ち着いて学習に取り組めるのは、読み聞かせの力かも知れません。今年度、佐敷好美さんを中心にご尽力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

2学期も何卒よろしくお願いたします。



平和教育講演会

6月16日(火)に平和教育講演会をしました。講師に知念具志堅出身の知花幸栄氏(88)と琉大山城彰子氏、それから南城市教育委員会の文化課の皆さんにお世話になりました。

当時6才の幸栄氏は、家の近くの山の中の壕に避難していたそうです。そこには約30人ほどの人々が避難していましたが、米軍がせめてきたことで、東海岸を通過して、ヤンバルの久志(カヌチャリゾートホテル近く)に疎開したそうです。道中の与那原では小学校が燃えていて、とても怖かったそうです。65km以上の道のりを見つからないよう暗くなってから避難していたそうです。貴重な体験を話ししてくれました。

講演後、児童からの質問にも応えてくれ、最後に「戦争は大変で、家族と離ればなれになる。どの国も平和で仲よくいてほしい。戦争は二度と起こしてはならない。」と教えてくれました。

子ども達は、真剣に話を聞いていて、最後には、個人的に質問をする子もいて印象的でした。



